

事業所名

放課後等デイサービス スマイリー

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		地域のために 地域とともに					
支援方針		専門職（OT・PT・ST・児童指導員）による評価（アセスメント）を行い、個々に必要とされる支援内容を検討し実施します。利用児童の持っている力を引き出し、ちょっとした表出も見逃さず、意思決定ができるよう支援します。通所してよかったと思っただけのよう、様々な活動を提供していきます。また、体調管理に関しては、保護者からの情報をもとに、協力医・看護師が観察し、緊急を要する際には、速やかに保護者に連絡をします。					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	登所時、体温や酸素飽和度 SpO <sub>2</sub> の測定、胸の音を聴いて健康状態の確認を行います。また、顔色、表情、身体の湿疹などの確認も行い、必要に応じて、体重測定を行います。自宅での様子を把握するため、連絡帳に記載されている事項、就寝・起床、朝食の時間、排泄、発作などを確認し記録に残し、スタッフ間で共有します。デイ利用中に体調不良が見られた場合には、家族に連絡を行うとともに、嘱託医（小児科医）に診察を依頼します。					
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図るため、理学療法士、作業療法士をはじめとするセラピストと連携します。運動の内容については、大型遊具であるトランポリンやスイング、ゲームなどを通して体を動かす楽しさを感じる。感覚遊びとしては、アルミホイールスタンプなどで今まで感じたことのない感触を体験するとともに、泡や寒天ゼリーなどを触る体験も行います。					
	認知・行動	ゲーム等、チーム対抗戦にする事で、仲間意識の向上をめざします。大型遊具やその他の活動時に順番決めを行うことで、児童一人ひとりの積極性を養うとともに、					
	言語 コミュニケーション	発語のない児童等の意思疎通について、眼球の動きや瞬き、顔の表情、身振り等の表出を見逃さず、考えていることを見逃さないようにします。音楽サークルでは楽器を触り、リズム遊びを通して聴覚を活用する発達を促します。					
	人間関係 社会性	集団活動の中で他者とのやり取りの仕方や適切な表出ができるように支援します。気持ちの切り替えや感情のコントロールの仕方を学べるように支援します。					
家族支援		家族のスケジュールに合わせて、延長支援を行います。個別面談を通して、活動の様子を報告し、支援方法等についてのニーズを伺います。		移行支援		地域の生活介護事業所等の入所に向けて、必要な情報提供・支援を行います。	
地域支援・地域連携		・自立支援協議会に参加し、情報交換等を行います。・地域の学生実習生を受け入れます。・活動の中で地域の資源（図書館や公園など）を利用することで地域との繋がりを大切にします。		職員の質の向上		法人内外の研修に参加し自己研鑽を行い、資質の向上を行っていきます。	
主な行事等		・館内：プール活動、夏祭り、秋まつり、クリスマス会、スマイリー神社の初詣、節分、避難訓練 ・館外：水族館、はつかいち図書館、まるくる大野、けん玉公園・サンチェリー公園の散歩					